

<ご参考>

■PRプランナー資格認定検定試験について

日本で唯一の公益法人による「広報・PR資格認定制度」

企業やPR関連会社などで広報・PRを担当している方はもちろん、広報・PR業務を希望する社会人・学生を対象に、広報・PRの基本的な知識から実践的なスキルまでを検定し、レベルに応じた各資格を認定します。これにより、広報・PR活動の社会的認知の拡大をはかり、広報・PR業務に携わる人材の育成と技能向上に寄与することを目的としています。

試験は、基本的な広報・PR知識を問う1次試験、4つの専門的な領域での高度な知識を問う2次試験、さらにニュースリリース作成や広報・PR計画立案などの実務スキルを評価する3次試験により構成されています。

過去21回実施された1次試験の受験者は、広報・PR業務の実務者、学生など9,357名で、第20回までの3次試験を合格した2,300人以上のPRプランナー資格取得者が誕生、企業、団体などの各方面で活躍しています。

■日本パブリックリレーションズ協会について

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会（略称：日本PR協会（PR SJ））は、1964年に結成された日本PR協会と1974年に設立された日本PR業協会が1980年に合併統合され、時代に即したPRの在り方の探求とPRの啓発・普及を図るために設立されました。

現在は、一般企業の広報部門、PR業およびPR業関連会社、それに有識者を含む542名で組織されているPRのプロフェッショナル団体です。2012年4月には公益法人の認定を受け、公益社団法人となりました。

主要な事業としては、「各種研修」「セミナー」などの教育事業、会員相互の交流事業、年鑑「PR Yearbook」や会員誌「協会ニュース」、PRにかかわるデータを網羅した「PR手帳」などの出版事業、優れたPR事例を顕彰する「PRアワードグランプリ」、傑出したPRパーソンを表彰する「日本PR大賞 パーソン・オブ・ザ・イヤー」及び広く社会や地域の発展に寄与し奨励に値する成果を収めた人物を表彰する「日本PR大賞 シチズン・オブ・ザ・イヤー」の運営などを行っており、これらの活動を通じてパブリックリレーションズの普及と啓発、広報・PRスキルの向上、倫理の徹底を推進しています。

2007年からは、PRパーソンとしての知識やスキル、職能意識を認定する「PRプランナー資格認定制度」をスタートさせ、協会内外のPRパーソンや、PRに興味を持つ学生など幅広い人々に「PRプランナー」などの資格を付与しています。